

## 地域再生計画

1 地域再生計画の名称  
かつしかARTブランド化計画

2 地域再生計画の作成主体の名称  
葛飾区

3 地域再生計画の区域  
葛飾区の全域

4 地域再生計画の目標

葛飾区においては、区の基本計画で「区民と創る元気なかつしか」を基調としたまちづくりを推進しており、文化芸術面においても区民の主体的な活動を支援し、多様で豊かな文化を創造発展させる諸条件を整備することにより、心豊かで充実した区民生活と個性的な都市の形成に取り組んでいる。

区は旧プログラムに基づき認定された取組み（平成16年6月21日認定）として、平成16年度に「シンフォニーヒルズ少年少女合唱団」を創設し、区全域から素質のある少年少女を発掘し、一流の音楽家を顧問及び指導者に招くことで、音楽的に充実した純度の高いハイレベルな合唱の創造を目指した。

旧プログラムに基づき認定された取組みが、平成19年3月に終了したが、過去3年間を振り返ってみると、当合唱団は、当初合唱経験の少ない団員が大半であり、各パートを揃えるのも苦労する状況の中スタートし、平成16年・17年と葛飾シンフォニーヒルズ小ホールで年1回演奏会を開催した。

その後、当合唱団は地域の顔となる芸術文化団体として認識され、区内合唱祭や文化祭への参加はもとより、平成18年度は、年1回の定期演奏会をかつしかシンフォニーヒルズ大ホールで開催し、ほぼ大ホールを埋め尽くすほどの観客を動員した。

区では、引き続き「シンフォニーヒルズ少年少女合唱団」が、合唱を通して広く音楽への関心を高める一助になると期待している。

そこで今回は、上記団体に限らず、区民が自主的に活動している文化芸術団体で、特に次代を担う子どもたちが音楽に触れる機会を創っている団体に対して積極的に支援する。区民の文化芸術に関する底辺の拡大を図るとも

に、子どもを通して音楽に触れあう機会を増やし、区民の文化芸術への参加気運を高めていく。

なお、事後に評価する指標は、以下のとおりである。

【目標値】

項目	平成 18 年度実績	平成 20 年度目標
金町中学校 & 葛フィルのオーケストラ・ジョイントコンサートの入場者数	240人	800人
葛飾吹奏楽団ジュニアバンドの活動回数	年間活動回数 6回	年間活動回数 10回
ハートフルコンサートの入場者数	120人	200人

## 5 目標を達成するために行う事業

### 5 - 1 全体の概要

区立中学校の OB を中心に立ち上げられた「葛飾吹奏楽団」は、小・中学生中心のジュニアバンドを立ち上げ育成しており、青少年の健全育成を図っている。また、かつしかシンフォニーヒルズの開設時に設立された「葛飾フィルハーモニー管弦楽団」は、地元中学校オーケストラ部へのボランティア指導とジョイントコンサートを積極的に実施している。区は、これらの取り組みを支援することで、青少年の文化活動の活性化を推進し、区民の文化芸術に関する底辺の拡大を図るとともに、地域からのプロアーティストや文化リーダーの育成にもつなげていく。

なお、目標を達成するために行う諸事業の実施に当たっては、区を中心に、かつしかシンフォニーヒルズ及びかめありリリオールの指定管理者（葛飾区は、平成 18 年度から文化施設の運営に指定管理者制度を導入）、「よくわかるオーケストラ実行委員会」及び「葛飾吹奏楽団ジュニアバンド育成実行委員会」等を構成員とした「かつしか ART ブランド化計画」全体の推進母体の組織化を図る。

### 5 - 2 法第 4 章の特別の措置を適用して行う事業

該当無し

### 5 - 3 その他の事業

#### 5 - 3 - 1 国の支援措置による事業

##### C0801 文化芸術による創造のまち支援事業の活用

##### (1) 「よくわかるオーケストラ」事業

「葛飾フィルハーモニー管弦楽団」は、これまで地元中学校のオーケスト

ラ部をボランティア指導し、「金町中学校&葛フィルのオーケストラ・ジョイントコンサート」を開催してきた。今後、区内のクラシックファンの拡大を図る意味から、「葛飾フィルハーモニー管弦楽団」による新たな企画として、オーケストラに関する様々な疑問を楽しく解説しながら親しみのある曲目を聞いていただくレクチャーコンサート「よくわかるオーケストラ」事業を開催する。

そして、このレクチャーコンサートにも、金町中学校オーケストラ部を共演者として迎えるため、葛飾フィルハーモニー管弦楽団の団員に指導を委託し、併せて同楽団を地域の文化リーダー(指導者)としても育成していく。

## (2)「葛飾吹奏楽団ジュニアバンド育成」事業

葛飾吹奏楽団ジュニアバンドは、次世代の文化芸術の担い手を育成するため、平成17年1月に創設され、メンバーは小中学生のみで構成されている。

引き続き、原則週1回定期練習を行い、葛飾区のこどもまつりや地域コンサート、老人ホームでのふれあいコンサートのほか、クリスマスコンサートやハートフルコンサート(定期演奏会)などを開催する。

なお、葛飾吹奏楽団ジュニアバンドは、音楽的に高いレベルの吹奏楽をめざし、区の文化性の向上や振興に寄与するだけでなく、校外での充実した時間を過ごせる場となって、学校・学年を超えた友達づくりの輪を広げ、青少年・児童の健全育成に役立っている。

## 5-3-2 国の支援措置によらない独自の取組みによる事業

### (1)文化芸術講座の実施

区民から提出された文化芸術講座の企画の中から、区民参加が期待できるものやアウトリーチ(出前コンサート・演劇)につながるものを採用して実施する。

### (2)アウトリーチの実施支援

文化芸術講座から輩出したアーティストに対し、地区センターなど発表場所や活動費等の支援を行う。

### (3)地域イベントの企画開催

アウトリーチの活動において、区民からの評価が高いアーティストを集め、NPO法人との協働による地域イベントを企画開催する。

### (4)区民イベントの企画開催

文化芸術講座から輩出した音楽、演劇、美術等のアーティストを一堂に会し、出演者、衣装や道具等、開催に必要なすべてを区内で調達したミュージ

カル等の区民イベントを企画開催する。

6 計画期間

認定の日から平成 21 年 3 月末まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

区では、葛飾フィルハーモニー管弦楽団による「よくわかるオーケストラ」や葛飾吹奏楽団ジュニアバンドによる「ハートフルコンサート」の入場者数の推移を把握し評価するとともに、身近な形で音楽に触れ合う場の提供が数多く必要と考えることから葛飾吹奏楽団ジュニアバンドの活動回数の増加など地域への貢献度も含めて、目標達成状況を評価する。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当無し